



2009年3月13日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学大学院文学研究科とドイツ・ハレ大学修士課程が ダブルディグリー・プログラムを開始

慶應義塾大学大学院文学研究科とドイツのマルティン・ルター・ハレ・ヴィテンベルク大学(以下、ハレ大学)修士課程は、ダブルディグリー・プログラムに関する協定を締結します。所定の要件を修めた学生が、両大学から修士号(MA)の学位が取得できるダブルディグリー・プログラムが2009年秋から開始します。

ハレ大学は、ドイツ語圏では歴史ある大学のひとつで、明治期より日本との交流を続けています。旧五千円札の肖像で有名な新渡戸稲造も、ハレ大学にて博士号を取得しています。慶應義塾大学とは2008年2月に包括的交流協定を締結しています。

1. 背景：

日本語・日本学の研究を志すドイツ人学生の、より高い日本語能力を身につけたいという希望と、より早い時期からドイツの大学の教育研究環境に触れたいというドイツ語・ドイツ文化を学ぶ日本人学生の双方の希望を実現するために、両大学の学生が2年間の修士課程在学中に両方の大学で学べ、両大学の修士学位を取得できるようにしました。

2. ダブルディグリー・プログラムについて

(1) 開始時期：2009年秋(日本では、2010年春に開始)

(2) 対象者：ハレ大学修士課程在籍者、慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程在籍者、各々5名を予定。両校で各々1年間(2学期間)在籍し、所定の要件を修めた学生に、ハレ大学及び慶應義塾大学より、修士号(MA)が授与されます。

3. 協定書調印式、主な出席者：

慶應義塾長 安西祐一郎

慶應義塾大学大学院文学研究科委員長 中川純男

ハレ大学政治学・日本学研究所日本学教授 Prof. Dr. Christian Oberlaender

在日ドイツ連邦共和国大使館公使 Dr. Anna Prinz

【本資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 担当：吉野・森口

TEL: 03-5427-1541 FAX: 03-5441-7640 E-mail: m-koho@adst.keio.ac.jp URL: <http://www.keio.ac.jp/>

1. マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンブルク大学について

マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学は、ドイツ語圏でも古い歴史を持つ大学のひとつです。ドイツのヴィッテンベルクに創立されたロイコレア大学（1502年創立）と、ハレのフリデリシア大学（1694年創立）との合併により1817年に設立され、ヴィッテンベルクで教鞭をとっていたマルティン・ルターに因んで名付けられました。現在では、学生数は約18,000人、190以上の専門課程を持つ総合大学です。

日本学科は1992年に誕生しましたが、明治期から日本とは密接な関係にありました。とりわけ地質学者のダヴィッド・アウグスト・ブラウンス（1879年～1881年に日本滞在）と国民経済学者のハインリヒ・オイゲン・ヴェンティヒ（1909年～1913年まで日本に滞在）は、客員教授として東京帝国大学に赴きました。逆に多くの日本人留学生も受け入れてきました。旧五千円札の肖像で有名な、新渡戸稲造も、ハレにて博士号を取得しています。

慶應義塾大学とは、2008年2月に包括的交流協定を締結しており、2009年3月現在、ハレ大学から慶應義塾大学には2名、慶應義塾大学からハレ大学には3名、計5名の学生が双方の交換留学生として在籍しています。

2. 慶應義塾大学と海外の大学とのダブルディグリー・プログラム等について

（カッコ内は、慶應義塾大学大学院の研究科名）

復旦大学（政策・メディア研究科）

エコール・セントラル・インターグループ（理工学研究科）

延世大学（政策・メディア研究科）

ESSEC 経営大学院（経営管理研究科）

インドネシア・リンケージプログラム（政策・メディア研究科）

以上